

2026 年 5 月 20 日
株式会社丸山製作所

共創型 R&D センター新設に関するお知らせ

— 水と技術を核に、食・水・環境の社会課題解決と新事業創出へ —

株式会社丸山製作所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:内山剛治)は、共創をテーマとした新たな研究開発拠点「R&D センター(仮称)」を着工し、2027 年の稼働開始を目指し建設中であることをお知らせいたします。

本センターは、これまで開発品目ごとに分散していた設計部門を集約し、社内外の共創を加速させる拠点です。防災を原点に、水と技術で社会インフラを支えてきた当社は、本拠点を通じてコア技術を進化させ、食・水・環境に関わる社会課題の解決と新事業の創出に挑戦します。また、水循環システムによる環境配慮や災害時の生活用水確保を通じ、当社の技術とものづくりの姿勢を象徴する研究開発拠点となります。



■ R&D センター新設の背景と目的

当社は 1895 年(明治 28 年)に創業し、日本で初めて消火器の生産を開始した企業として、防災分野を起点に社会の安全・安心を支えてきました。これまで、ポンプ技術やエンジン技術といったコア・テクノロジーを活かし、農業用機械や工業用ポンプの分野で事業を展開しています。

新設する R&D センターでは、成長事業の創出に向けた製品開発、環境に対応した技術開発、自動化による効率的な開発など、のコア技術のさらなる高度化を進めます。

魅せる R&D センターをコンセプトに、従業員が最大限に活躍できる環境を整えるとともに社内外の多様な技術・知見を持つパートナーとの共創に取り組み、分野横断型の研究開発を推進します。従来事業の進化に加え、新たな事業領域の開拓につながる技術・サービス創出を目指します。

■ 水循環を取り入れた研究開発拠点

R&D センター内では研究開発のため多くの水を使用しますが、その水を循環・再利用する仕組みを導入しています。

これは環境負荷低減にとどまらず、大規模災害時に課題となる生活用水の確保を見据えた防災の視点も取り入れた取り組みです。

■ 今後の展望

当社は、食・水・環境に関わる社会課題に対し、事業を通じて解決に貢献していく企業であり続けることを目指しています。

本 R&D センターを起点に、技術の可能性を広げ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

■ 施設概要(予定)

施設名称: R&D センター(仮称)

稼働開始: 2027 年(予定)

所在地: 千葉県東金市小沼田 当社千葉工場内